

酌婦稼業（醜業）ヲ爲ス酌婦千人ヲ必要ナリト稱シ本年一月一日之力募集ノ爲

管下

藝娼妓酌婦等紹介業

方ヲ訪レ其ノ後屢々來橋別記一件書類一契約書（一號）承諾書（二號）借用證書（三號）契約條件（四號）ヲ示シ酌婦募集方ヲ依頼シタル事實アルモ本件ハ果シテ軍ノ依頼アルヤ否ヤ不明且公秩良俗ニ反スルカ如キ事案ヲ公々然ト吹懸スルカ如キハ皇軍ノ威信ヲ失墜スルニ甚シキモノト認メ嚴重取締方所願前橋警務署長ニ對シ指揮致置候條此段及申（通）報候也

尙ノ言動左記ノ通ニ付申添候

退而兵庫（費）縣ニ於テハ相當取締ノ上結果何分ノ御通報相煩ハシ度

（縣下各警察署長ニ在リテハ嚴重取締セラルヘシ）

記

日支爭變ニ依ル出征將兵モ既ニ在支數ヶ月ニ及ヒ戰モ酣ハナ處ハ終ツタ爲一昨駐屯ノ體勢トナツタ爲將兵カ支那醜業婦ト遊フ爲病氣ニ掛ルモノカ非常ニ多ク軍醫務局元ハ戰爭ヨリ寧口此ノ花柳病ノ方カ恐シイト云フ様ナ情況テ其處ニ此ノ施設問題カ起ツタモノテ在上海特務機關カ吾々業者ニ依頼スル處トナリ向僚

目下上海在住貸座敷業

ヲ通シテ約三千名ノ酌婦ヲ募集シテ送ルコトトナツタノテ既ニ本問題ハ昨年十二月中旬ヨリ實行ニ移リ目下三百名ハ稼業中デアリ兵庫縣ヤ關西方面テハ縣當局モ諒解シ應援シテキル、營業ハ吾々業者カ出張シテヤルノテ軍カ直接ヤルノテハナイカ最初ニ別紙壹花券（兵士用二圓將校用五圓）ヲ軍隊ニ營業者側カラ納メテ直キ之レヲ軍テ各兵士ニ配布之ヲ使用シタ場合吾々業者ニ各將兵カ渡スコト、シ之レヲ取纏メテ軍經理部カラ其ノ使用料金ヲ受取ル仕組トナツテキテ直接將兵ヨリ現金ヲ取ルノテハナイ軍ハ軍トシテノ慰安費様ノモノカラ其ノ費用ヲ支出スルモノラジイ

何レニシテモ本月廿六日ニハ第二回ノ酌婦ヲ軍用船テ（神戸發）送ル心算テ目下募集集中デアル云々、

本籍地
現住所

稼業人

運搬人

殿

(三號)

承 諾 書

本籍

住所

稼業人

年 月 日生

右ノ者前線ニ於ケル貴殿指定ノ陸軍慰安所ニ於テ酌婦稼業（娼妓同様）ヲ爲ス事ヲ承諾仕候也

昭和 年 月 日

右戸主又ハ親權者

稼業人

昭和 年 月 日
本籍地
現住所

(三號) 金員借用證書

一金

右之金員拙者要用ニ付キ正ニ請取借用仕候事實正也然ル上ハ返濟方法ハ別紙契約書ニ基キ
酌婦稼穡ヲ爲シ御返濟申ス可ク萬一本人ニ於テ契約不履行ノ節ハ拙者等
連帶者ニ於テ速カニ御返金仕ル可ク爲後日借用證書依而如件

昭和 年 月 日

本籍地

現住所

借主

現住所

運帶者

殿

(四號)

拜啓年内餘日も無之唯御繁忙の事と奉存候隙者今回尋常の御了解の元に中支方面に皇軍
將士慰安を目的とする慰安所設立致す事と相成り左に候旨を以て約五百名の酌婦を募集
該候に付何卒大至急御手配煩シば御報知次第直ちに出張可仕候間御一級被下度奉願候

昭和十二年十二月廿八日

條件

一 契約年限

滿二ヶ年

一 前借金

五百圓ヨリ千圓迄

但シ右前借金ノ内二割ヲ控除シ身付金及乘込費ニ充當ス

一年 満

満十六歳ヨリ三十才迄

一、身体壯健ニシテ親權者ノ承諾ヲ要ス但シ養女籍ニ在ル者ハ實家ノ承諾ナキモ差支ナシ

二、前借金返済方法ハ年限完了ト同時ニ消滅ス
即チ年期中假令病氣休業スルトモ年満了ト同時前借金ハ完済ス

三、利息ハ年期中ナシ途中廢業ノ場合ハ殘金ニ對シ月壹歩

四、違約金ハ一ヶ年内前借金額ノ一割

五、年満途中廢業ノ場合ハ日割計算トス

六、年満了歸國ノ際ハ歸還旅費ハ抱主負擔トス

七、精算ハ稼高ノ一割ヲ本人所得トシ毎月支給ス

八、年満無事満了ノ場合ハ本人稼高ニ應シ應分ノ慰勞金ヲ支給ス

九、衣類、器具食料入浴料醫藥費ハ抱主負擔トス

イ 營業者控
イ 元 締 控
派遣軍慰安所 イ 花 券
派遣軍慰安所 壹 花 券 金 五 圓 本券一枚御一名限

口 營業者控
口 元 締 控
派遣軍慰安所 口 花 券
派遣軍慰安所 壹 花 券 金 貳 圓 本券一枚御一名限